

12月8日(月)

時間が少なすぎる

聖書朗読 ペテロの手紙 第二 3:8~13

しかし、愛する人たち。あなたがたは、この一事を見落としてはいけません。すなわち、主の御前では、一日は千年のようであり、千年は一日のようです。

ペテロⅡ 3:8

2025年12月8日～12月14日

翻訳 阿部 やよい

編集 野口 恵美子

この冊子の聖句は新改訳聖書第三版を使用しています
※翻訳・編集以外でも協力して下さっている兄弟姉妹がいます

御茶の水キリストの教会

時間が最も限られた資源だと感じる時があります。私たちは日々をあわただしく過ごし、スケジュールを詰め込み、そして締め切りに追われて疲弊しているのです。はたして、これは神様が私たちに望まれる生き方でしょうか。御言葉からわかるように、神様の

時間のとらえ方は私たちのものとは違います。神様は事を急いだりなさいません。私たちも、おそらく急ぐ必要はないのです。

スローダウンするというのは、娯楽のお誘いを断ったり、残業するのをやめたり、インターネット上で周りの人と繋がっている画面をオフにしたりすることなのかもしれません。これは少し極端なことのように聞こえますが、私たちの人間関係、そして私たちの健康にとっては、試す価値はあります。常に急いでいることはストレスとなり、そのストレスが怒りを生み、私たちの心と家族を傷つけることになります。

最近、私は時計に振りまわされるのを意識してやめるようにしました。確かに、失ったものもありますが、清々しく、穏やかな時間、そして何よりも大切な人と過ごす時間をもっと持つことができるようになりました。

忙しいことが偉いという今の風潮に惑わされてはいけません。神様のタイミングを信じて、本当に価値のあるものを大切にしていきましょう。

聖歌 553 せいなるものと

祈り 主よ、スローダウンして、あなた様と足並みをそろえて歩んでいけるようお助けください。生産性によってではなく、あなた様の平安、ご臨在、目的によって時間を評価できるようお導きください。イエス様の御名によって。アーメン。

テキサス州 アーヴィング／ブライアン ヒューメック

12月9日(火)

寛 大 な 父

聖書朗読 ヨハネの手紙 第一 1:5~10

もし、私たちが自分の罪を言い表すなら、神は眞実で正しい方ですから、その罪を赦し、すべての悪から私たちをきよめてくださいます。 ヨハネI 1:9

子供の頃の父との思い出はそれほど多くはありません。父は私が12歳の時に亡くなりました。父は小さな町では名の知れた整備士で、また綿花を綿繰り工場に運搬していました。

私が大切にしている思い出の一つは、父が整備士だった時に父と一緒に働きに行ったことです。綿畑周辺の狭く舗装していない道を走りながら、父は私にトラックの運転方法を教えてくれました。それはとても楽しかったのを覚えています。ある日、私は道の脇にある何かに車体をこすってしまいました。私は父に怒られると思い怖くなりましたが、父は決して私を叱ることはありませんでした。父は私がすでに自分がしてしまったことを悪いと思っていると知っていたからです。

私は父の寛大な性格を一生忘れる事はないと思います。

私たちのご在天の父なる神様は、私たちが求めるとき、すべてを赦してくださいます。『お互いに親切にし、心の優しい人となり、神がキリストにおいてあなたがたを赦してくださったように、互いを赦し合いなさい。』(エペソ 4:32)

讃美歌第二編 167 われをもすくいし

祈り お父様、私たちが求めるとき、私たちの罪をお赦しくださり感謝いたします。

私たちが自身を、そして周りの人を赦すことができるようお助けください。イエス様のお名前によって。アーメン。



テネシー州 コルドヴァ / ジュディ・キルマー

12月10日(水)

キリストの友人

聖書朗読 ヨハネの福音書 15:9~17

あなたがたがわたしを選んだのではありません。わたしがあなたがたを選び、あなたがたを任命したのです。それは、あなたがたが行って実を結び、そのあなたがたの実が残るためであり、 ヨハネ 15:16前半

「ちょっとありえないんだけど、聞いてくれる？」と、ただそれを言うために友達に電話したことはありませんか。眞の友はあなたの話に耳を傾け、笑い、ちゃんと覚えてくれます。そして、どんなに遠くに離れていても、あなたの友はあなたに寄り添ってくれます。

イエス様は私たちを友と思ってくださっています。ただの弟子やしもべではなく、友達です。それは驚くべきことです。裏切りと死の直前に、イエス様は弟子たちを見てこうおっしゃいました。『父がわたしを愛されたように、わたしもあなたがたを愛しました。』

そしてイエス様はその通りにされました。弟子たちが逃げ、疑い、イエス様を否定した後でさえ、イエス様は彼らのそばにおられました。イエス様は復活され、彼らのもとに戻ってこられ、教え、ともに歩き、食べ、愛されました。イエス様はずっと彼らの友でした。

友情とは共にいて、信頼し、話すことです。イエス様は今の今も、そのような友情を私たちに与えてくださいます。イエス様は、私たちのひどい状態も動機もご存じです。それでも、私たちに近くに来るようにと招いておられます。どんなに困難な時でも、イエス様は決して私たちのもとから離れることはありません。私たちのもとに歩み寄り、『平安があながたにあるように』と言われます。

イエス様との友情が深まれば深まるほど、私たちは多くの愛、喜び、誠実の実を結ぶことができます。そして、これらの実によって、世は私たちがイエス様とともにいることを知るのです。

讃美歌 312 いつくしみふかき

祈り イエス様、私を友と呼んでください感謝いたします。今日もあなた様の愛のうちに歩み、あなた様のもとにいることができるようお助けください。イエス様のお名前によって。アーメン。

12月11日（木）

試される

聖書朗読 マタイの福音書 15：1～9

あなたがたを受け入れる者は、わたしを受け入れるのです。また、わたしを受け入れる者は、わたしを遣わした方を受け入れるのです。
マタイ 10：40

新しく副牧師として働き始めたころ、私は、バプテストリーの更衣室のヒーターをつづ放しで家に帰ってしまい叱られました。このことは私の心を試すものとなりました。私は叱らすことにより、つい否定的なことばかり考えていました。

しかし、神様の恵みによって、このバプテストリーの更衣室のヒーターの件が取るに足りないことを神様は示して下さいました。その日は、キリストにあるバプテスマが行われ、その方はキリストにある新しい人生の出発をしました。バプテスマされた方の友達や家族は喜びに満たされました。本当に多くの教会の人々が励されました。私もその場に集い、感謝しました。そして、その後、バプテスマされた方と共に喜ぶことよりも、自分の失敗にばかり気を取られていたことに気付かされたのです。

イエス様の人生は父なる神様のみこころを行なうことに焦点があてられていました。心の一新によって自分を変えること。イエス様は自分のプライドや力を示すために律法の細かい点を守ろうとするパリサイ人の思いには見向きもしませんでした。

イエス様を試していると思っていたパリサイ人たちは、実はイエス様によって何が一番大切なかを質問され、試されていたのです。彼らはその試験に落ちました。友人チャールズ・シバートの言葉を借りるなら、イエス様は彼らを“大きく上回った”のです。手洗いの儀式を守ることにとらわれるよりも、年老いた父や母を敬うべきであること。そして、それが最終的には神に近づくことになるとイエス様は指摘されました。

今日、立ち上がって、全体像を見ましょう。愛ある行いをしましょう。重要なことから目を離さず、些細なことに目を留めず、神様にもっと近づきましょう。

教会福音讃美歌 359 わたしの望みは

祈り お父様、全体を見るができるように、過去の批判に関して他の人への思いやりをもって対処できるように助けてください。あなた様のもとに留まることができますように。イエス様のお名前によって。アーメン。

編集者 スティーブン S・レムリー

12月12日（金）

そして神の使いは呼びました

聖書朗読 創世記 21：8～21

神は少年の声を聞かれ、神の使いは天からハガルを呼んで、言った。「ハガルよ。どうしたのか。恐れてはいけない。神があそこにいる少年の声を聞かれたからだ。

創 21：17

神の使いが呼んだんですって！ ハガルが絶望の淵にいた、正にその時、神の使いはハガルを呼びました。

神様は、完璧なタイミング、そして最悪なタイミング、両方のタイミングで、私たちを呼びます。私たちが痛みを感じている時、愛する人を失って悲しんでいる時、予期せぬトラブルに見舞われている時など、神様の御声を聞かなくてはならないと感じている時、神様は私たちをお呼びになります。しかし、神様はまた、私たちが神様を求めていない時にも、私たちが最高の気分の時、“健康で裕福で賢明”な時にも、私たちをお呼びになります。

神様は私たちを新たにされるためにお呼びになることがあります。神様は、新しい目的や新たな視点のために、私たちに準備をさせてくださっているのかもしれません。神様は“今、ここにいる”と私たちに知ってほしいのです。そして、神様は、私たちがこの真実を周りの人と分かち合うことを望んでおられます。

しかし、神様の御声を聞くという恩恵を受けるためには、私たちは耳を澄ましていなければなりません。弱っている時、私たちは、私たちの心を神様の御声という音楽の周波数に合わせなければなりません。そういう時こそ、神様は私たちの叫びを聞いてくださっているからです。そして、絶好調の時もまた、私たちは神様の御声を聴かなければなりません。そういう時、神様は私たちの喜びを聞いて下さっているからです。良い時も悪い時も、神様はそこにいてくださり、私たちの召命を新たにしてくださいます。

讃美歌 II 8 3 呼ばれています

祈り 親愛なる主よ、悲しみや痛みの中にいる時、安らぎや幸福の中にいる時、私は耳を澄ましてあなた様の呼ぶ声を聴きます。あなた様だけが、私を元気づけることができます。ですから私はあなたにあって恐れることはありません。感謝いたします。イエス様のお名前によって。アーメン。

テキサス州 ラボック / ジエス ピーターソン

12月13日（土）

わたしの民を行かせよ

聖書朗読 出エジプト記 3:7~14

「あなたはイスラエル人にこう告げなければならない。『わたしはあるという方が、私をあなたがたのところに遣わされた』と。」

出エジプト記 3:14b

私たちはモーセと同じように感じる時があります。神様が私たちに何を望んでおられるのかわかつてはいるけれど、それをする自信がないために躊躇してしまうのです。モーセは多くの言い訳をしました。私はいったい何者なのでしょう、パロのもとに行かなければならぬとは。私を遣わされたのは誰かと聞かれたら、何と答えたらよいのでしょうか。彼らが私の声に耳を傾けなかったら、どうしたらよいのでしょうか。私はことばの人ではありません。ほかの人を遣わしてください。

身に覚えがありませんか。主はおっしゃいます。『あらゆる国の人々を弟子としなさい。』しかし、私たちは言います。私はいったい何者なのでしょう、隣人のもとに行かなければならぬとは。彼らが話を聞いてくれなかつたらどうしましょう。私は聖書についてうまく説明できません。主よ、どうか他の人に頼んでください。

モーセに対する神様の答えは圧倒的でした。わたしはあなたともにいる。わたしはあるという方があなたを遣わされた。モーセよ、あなたができることをしなさい。あとはわたしに任せなさい。わたしはあなたを、この務めのために選んだのだ。さあ、行きなさい。

パロによって即座に殺されるかもしれないのに、モーセは自身の命を神様の御手に委ねました。モーセは勇気と信仰において成長しました。

あなたも勇気を奮い立たせましょう。神様について語り合いましょう。福音という招待状をもっと多くの人に配りましょう。神様はあなたとともにおられます！

讃美歌第二編 172 世界に告げよ

祈り 神様、隣人のもとに行くとき、あなた様が私たちに求めていることをする勇気をお与えください。イエス様のお名前を通して。アーメン

オクラホマ州 エドモンド／スタッフオード ノース

12月14日（日）

神様は私の必要をご存じです

聖書朗読 申命記 11:1、13~16

しかし、私たちは、神の約束に従って、正義の住む新しい天と新しい地を待ち望んでいます。

ペテロⅡ 3:13

幸せには欠かせない3つのことがあると言われています。それは、愛する人、すべきこと、そして未来への希望です。神様が私たちを造られたので、神様は私たちの必要を全て知つておられます。そして、私たちは、この愛と奉仕と希望をテーマにした物語を聖書を通して知ることができます。

モーセの律法について語られている今日の聖句で、モーセは、神を愛し、隣人を愛し、そして神の戒め（すべきこと）を守るよう、イスラエルの民に命じています。そして彼らは、彼らの希望となる、実り豊かな地を約束されました。

新約聖書で、イエス様は、申命記とレビ記両方の一節を引用し、神を愛すること、隣人を愛することの重要性を強調しています。そしてなにより喜ぶべき教えは、イエス様が常に私たちを愛してくださっているということです。私たちは決して一人ではないのです。ヨハネの福音書14:15で、イエス様は『もしあなたがたがわたしを愛するなら、あなたがたはわたしの戒めを守るはずです。』とおっしゃっています。神様に愛されることによって、私たちもまた神様を愛し、そして周りの人を愛し、神様に仕え、神様にあって希望を持つことができるのです！ 私たちの愛する神様は私たちをお造りになられ、そして私たちが必要なものすべてを備えてくださっています。今日、私たちが必要なものをお与えくださっている神様をほめたたえましょう！

讃美歌 169 きけよ ひびく

祈り 私たちを一番よくわかつてくださっているお父様、あなた様を、そして、あなた様がお造りになられたものを愛します。あなたが私たちがするようにと備えて下さったことをしたいと思います。この世を越えたところにある、御国を待ち望みます。我らの救い主のお名前によって。アーメン。



アーカンソー州 クイットマン／シンシア サザーリン